

事業所名

放課後等デイサービスひだまり

支援プログラム

作成日

令和7年

2月

15日

法人（事業所）理念		家庭的な安心して過ごせる場所で、自分のエネルギーを存分に発揮し、好きワクワクと一緒に見つけ没頭できる居場所。自分から友好的な関係を築ける子どもを目指して。					
支援方針		衣食住にまつわる具体的な支援。卒後の進路を見据えた個別的な支援。多言語のコミュニケーションスキルの向上。					
営業時間		13時	0分から	19時	0分まで	送迎実施の有無	ありなし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	食事や入浴、睡眠のとり方など、どのようにしたら調子よく元気に過ごせるのか、一緒に考えたりアドバイスすることで、QOL（生活の質）を上げていけるよう、支援していく。衣服の汚れやボタンのほつれ等、身だしなみに関することも、共に考えながら、寄り添い支援していく。また、お裁縫や毛糸での制作等を通して、自分でも衣食住の衣の部分を整えていくことができるよう、具体的に支援していく。クッキング活動を通して、自分でも料理が作れることの楽しさを味わえるよう支援していく。					
	運動・感覚	リズムジャンプや、様々な動きのある運動を通して、身体の適切な使い方や、疲れにくい身体作りを目指した支援をしていく。身体を緩めることが苦手なお子さんのために、リラックスする方法も同時につたえていく。五感を使う活動（スライム作り、わらべうた、クッキング、ビジョントレーニングなど）を通して、感覚を育て上げるよう支援していく。					
	認知・行動	やらなければいけない事（to do）の最適化が出来るよう、思考の整理方法を伝えていく。自分の持っているエネルギーをどういう場所や場面で、どのように放出していくのか、一緒に考え、導いていく。その場所やその場面に相応しい行動をとっていけるよう、その都度一緒に考え、伝えていく。					
	言語コミュニケーション	中国語や英語を活動に取り入れることで、世界に目を向けたり、多言語のコミュニケーションスキルを楽しみながら身に付ける。様々な場面を経験することで、その場に合った適切な言葉を選んでコミュニケーションを取っていけるよう、支援していく。					
	人間関係社会性	自分から、挨拶や自己紹介をするような友好的な雰囲気を身に付け、将来進んだ先で出会う方と親しみを持って関わっていけるように、支援していく。お出かけ活動等を通して、公共の場でのふるまい方や、声の大きさ、言葉の使い方、等身に付けられるよう、支援していく。					
家族支援		ご家庭の困りごとや、学校との連携、ご兄弟に関する事など、お声掛けしながら相談しやすい雰囲気をつくっている。また、なかなか通所が難しいお子さんに関しては、折を見て、お電話やメールをするようにしている。			移行支援	お引越しするお子さんが、お引越し先でスムーズに支援を受けられるように、相談支援事業所を探し、紹介している。進学にあたって、そこで早めに馴染む事ができるよう、学校へ情報の共有をしている。	
地域支援・地域連携		地域のゴミ拾いをしたり、近くの公園を利用する時に、ご近所さんとお話をして、顔見知りになっている。地域のお祭りや、文化祭などがある時は、事業所でも紹介している。			職員の質の向上	日々の朝礼で、職務を全うすることの大切さを伝えている。また、定期的な研修会により、職員の支援力にばらつきが出ない様に、また支援の方向性が統一されるように、研鑽している。	
主な行事等		たこ焼きパーティー、海釣り公園へお出かけ、水族館へお出かけ、夏祭り、知林ヶ島へお出かけ、バーベキュー、ハロウィンパーティー、クリスマスパーティー、動物園へお出かけ、節分の豆まき					